

大磯名泉樓

山口左七郎
侍
榎
史

吾等時々寒候を以て無
事月夜より多し仕へる事
多し然るに昨日一日も
湯も浴びず夜も寝ず可
成りなり又都令病者
次は退中はるにハ不口を
可成り退中を部控おし生
初ハ診察しはるにハ生
多し此等十カ方
何故か易く動揺し
事未だハ教戒し
吾等此等十カ方
不仕と云ふは
君子、高貴を
故は試験物
事未だハ思
事候はるにハ
事未だハ思
来不月試験物と

[illegible]

宝世々ねうあふ年上ふ集
 ちふはるるあふ合買ちふ
 形新くちれち端は管身ち
 有る情故ち管身ち
 事度ち管身ち
 換条ち管身ち
 ち管身ち
 十日
 白蓮
 昭

山王部

信重

西仲はちり用る

⑤ふは白家りあ矢は

ちり多様而ち中何

ちり度く用向ちは

紙表ちち一ちせんちる

江ちちちちちちちちち

知能うはちち



東山より徳経のち何回も有地

あふ月 白蓮 昭

十月